

よつばのクローバー



豊中市教育委員会
令和6年(2024年)
4月
NO. 1

「つながりを大切に、自ら学び 未来をつくる学校」づくり ～庄内よつば学園開校にむけて

令和6年度(2024年度)がスタートしました。子どもたちは、新たに始まるステージ(学年・クラス替え等)への期待と不安が入り混じった複雑な気持ちのもとで、この4月を迎えたことと思います。

特に、七中校区の庄内西小・庄内南小・千成小、そして第七中にとっては、あと2年で閉校を迎え、令和8年度(2026年度)4月には、4校が統合され義務教育学校「庄内よつば学園」として生まれ変わることとなっています。そういう意味では、大きなステージの変化を2年後には迎えることとなります。

そこで開校にむけての3小1中の取り組みや活動等を子どもたちと共に、教職員、保護者、地域の方々を知っていただき、お互いに開校に向けての意識を共有できればと考えています。そこで今年度は、開校にむけての取り組みの様子や子どもたちの頑張り等を報告するために、「よつばのクローバーだより」を定期的に発行することとしました。

庄内地域の義務教育学校のめざす子ども像は「自ら考え行動し、仲間とともに豊かな社会をつくる子ども」と、すでに決まっています。そんな子ども像をめざし、三つの力「つながる力・まなぶ力・つくる力」を432の3ステージで段階的に育んでいこうというものです。それをふまえた学校づくりをすすめるための庄内よつば学園の「めざす学校像」が、表題のスローガン「つながりを大切に、自ら学び未来をつくる学校」です。これは昨年度、3小1中の教職員が集まって小中合同研修会をもち、新たにできる義務教育学校では、どんな学校づくりをすすめていけばいいのかを話し合い、そこで出された意見をもとにまとめられた学校づくりイメージが、このスローガンです。今後、「庄内よつば学園」のめざす学校像として開校にむけた議論及び取り組みをすすめていきたいと考えています。



庄内よつば学園 完成イメージ図

校名は、正式に「庄内よつば学園」に

昨年度末に発行しました「魅力ある学校づくり通信」で報告しましたように、新たにできる義務教育学校の校名は、「庄内よつば学園」に正式に決まりました。

校区の子どもたちの声とともに、市民・保護者等からも広く公募し、集まった「声(校名案)」をもとに協議をすすめた結果、「庄内よつば学園」と3月の市議会で正式に決定されました。

この校名には、3小1中の4校が一つになるということ。四つ葉のクローバーは「幸せの象徴」のイメージがあることなどから、「やさしい校風」がつくられるのではないかと、4校から集まった人たちがられあうことで、幸せになってほしいという理由で選定されたものでした。この決まった校名を軸に、今後校章及び校歌を決めていくこととなります。

また標準服のあり方についても、昨年度「標準服等にかかるアンケート」を実施させていただき、多くの方から回答を寄せていただきました。ご協力ありがとうございました。そのアンケート結果も参考にし、現在検討をすすめているところですので、方向性が出てきましたらまた報告させていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。